

## 「龍姫湖利用協議会」設立趣意書

龍姫湖は、温井ダム(平成14年3月完成)の貯水池として誕生した湖であり、洪水調節及び水道用水等の供給のための水を貯留し、広島市、呉市をはじめとする瀬戸内海沿岸島しょ部への水源として重要な役割を担っています。

また、龍姫湖周辺は、自然豊かで美しい景観を有し、安芸太田町の貴重な資源となっています。

この水源地域が有する様々な資源と温井ダム・龍姫湖の積極的な活用や水源地域である安芸太田町の活性化を図るための「温井ダム水源地域ビジョン」が平成20年5月に策定され、ダム周辺の利活用について検討されたものの、龍姫湖の利用規則については、安芸太田町と国土交通省中国地方整備局温井ダム管理所の協定締結に基づき限られた利活用となっておりました。

しかし、その後、国においても「インフラへの理解を深めていただくために」普段訪れることのできないインフラの内部等を見ていただくことは重要であり、またインフラ自体も、「地域に人を呼び込み、地域活性化に寄与する」という点で有力な観光資源であるとの認識が広まり、平成31年3月には、国の有識者懇談会から更なるインフラツーリズムの拡大に向けた提言も提出され、積極的に取り組むこととされています。

安芸太田町においても、温井ダムについて、観光資源としての重要性を再度位置付けるとともに、湖面利用の更なる推進を図ることによって、インフラへの理解を高め、更なる地域活性化を図ることを目的として、地域関係者による「龍姫湖利用協議会」を設立し、安全・安心・快適な湖面利用計画を制定し、その的確な運用に取り組むこととします。

令和4年10月17日